

ものを大切に 人を大切に

～循環型社会の形成に向けて 志布志市の取り組み～

発表者

志布志市役所市民部環境政策課

課長補佐 西川順一

志布志市の概要

人口: 34,454人(平成18年10月現在)

総面積: 289.47km²

地理: 鹿児島県大隅半島の
東部、宮崎県堺に位置し、
南東部は志布志湾に面す

産業: お茶、肉用牛、園芸、
養殖うなぎ、中核国際港湾指定

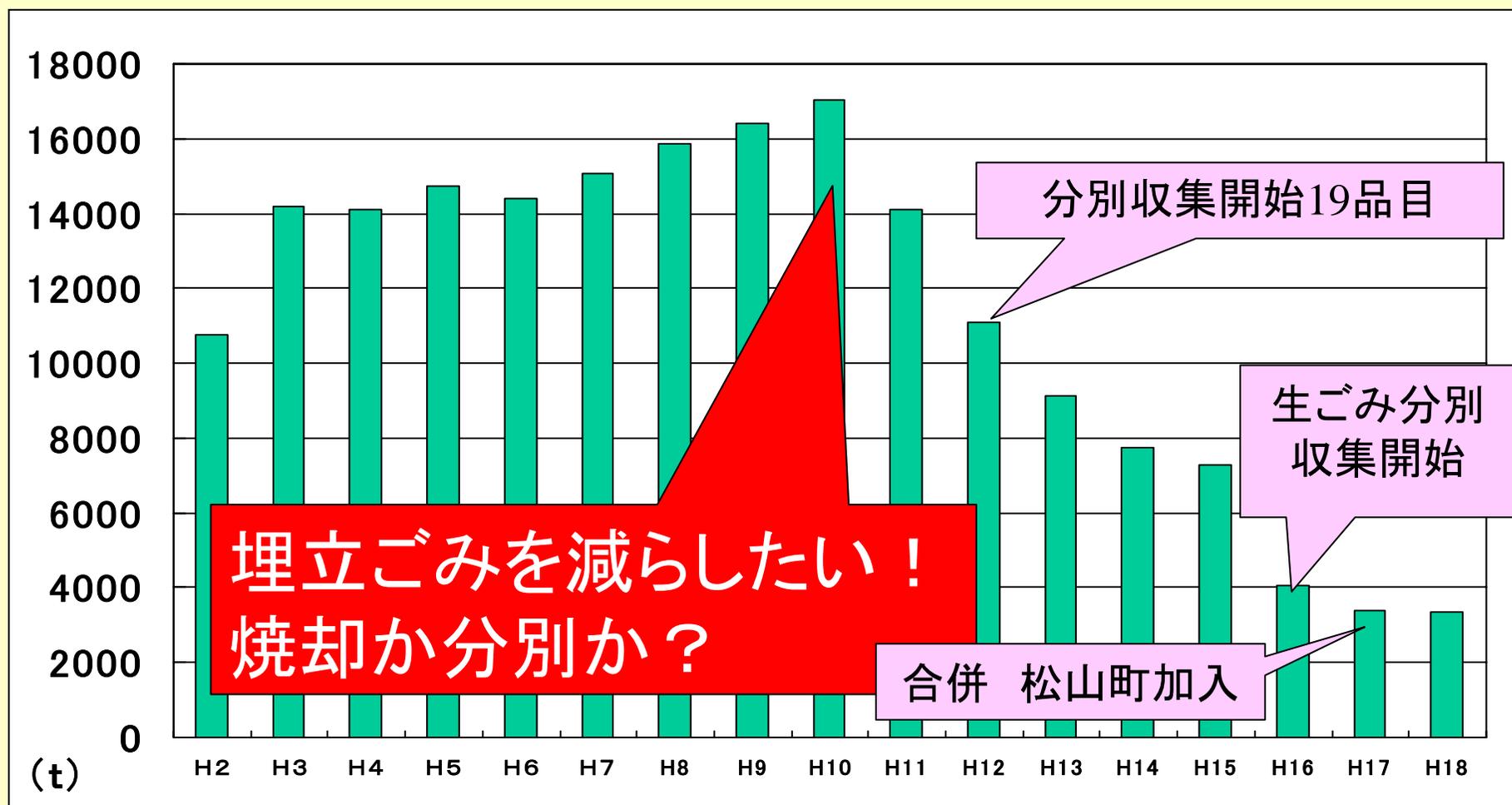
その他: 平成18年1月1日合併
(松山町、志布志町、有明町)



埋立量の推移

平成2年埋立開始 埋立容量72万立方メートル

大崎町(15,000)、志布志町(18,000)、有明町(12,000)



志布志市の分別収集

- ①資源ごみ 月1回又は2回 各ごみステーション(492箇所)
回収及び中間処理は委託
- ②生ごみ 週3回 各ごみステーション(594箇所)
「第1に自分で処理を、できない人は分別出し」
回収及び堆肥化処理は委託
- ③一般ごみ 週1回 各ごみステーション(626箇所)
回収は委託 直接埋立
- ④粗大ごみ 戸別回収
回収は委託 再利用・リサイクルの促進

面倒くさいのススメ



H17. 7～陶磁器類も分別 28品目に



「各ごみステーションの管理は自分たちで」
「衛生自治会」の育成

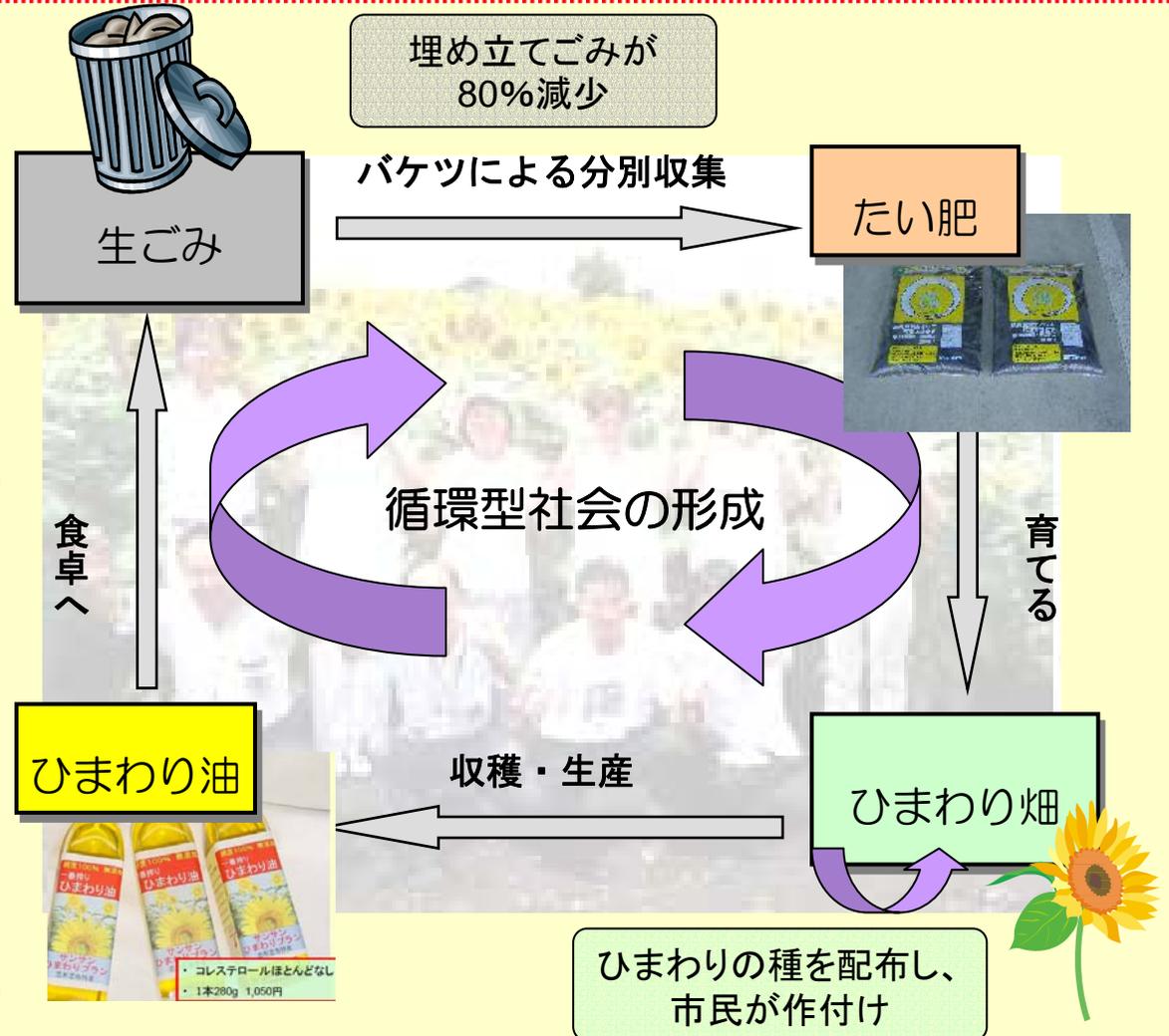


「サンサンひまわりプラン」

～生ごみからひまわり油を作り、体の中から健康に～

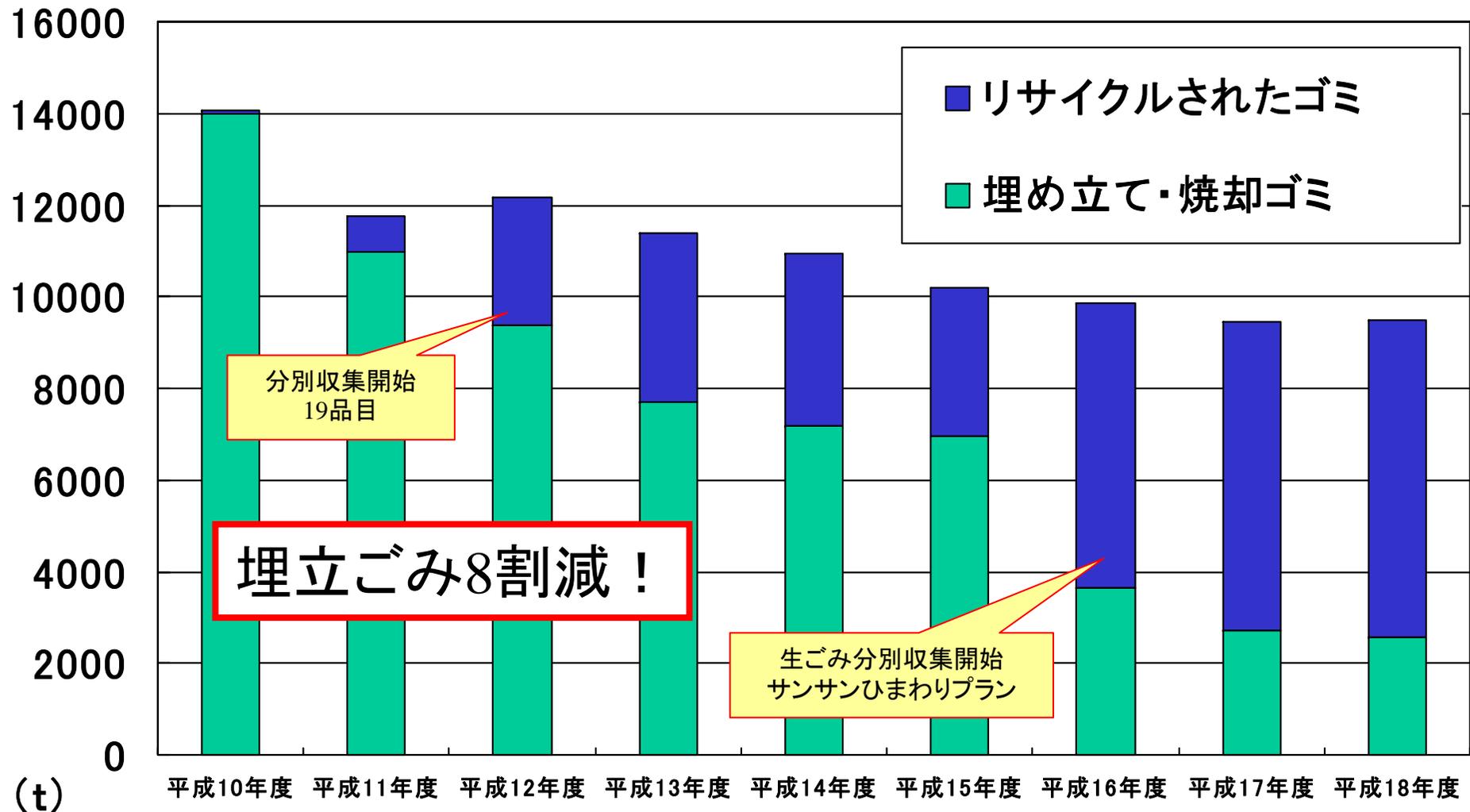


- 住民への十分な説明
- これまで埋め立て処分されていた生ごみからたい肥を製造。
- つくったたい肥でひまわりを育て、ひまわり油に加工して食卓へ。再び生ごみとなって収集。
- 全世帯にひまわりの種を配布する。ごみの減量化にも成功。
- 「今まで週1回だったけど週3回生ごみを出せるわ。」好評



志布志市のごみ

「混ぜたらごみ、分けたら資源」



今後の課題

- ・志布志市の埋立ごみゼロへの挑戦

 - 紙おむつの分別収集・リサイクル(高齢化社会の到来)

 - 埋立処分場→リサイクルステーション 機能転換

 - 自治体の財政負担増

- ・企業の取組

 - 廃棄物を出さない販売方式のあり方

 - 同一素材・分別が容易な商品の提供

- ・消費者の取組 環境学習の必須

- ・全市町村の取組

 - 生ごみ回収に伴うバイオマスの利活用

 - 焼却から分別収集へ

